堀の中へと[illegible]し中[illegible]橋[illegible]橋の上へ[illegible]
[illegible]の中へと[illegible][illegible]追て[illegible]少々矢[illegible]
[illegible]城の門[illegible]
[illegible]
[illegible]後[illegible]の[illegible]
堀へ[illegible]付[illegible]寄る路[illegible]之人の[illegible]知[illegible]
六七百人[illegible]侍[illegible]中[illegible]小[illegible]の[illegible]
は雑兵[illegible]七[illegible]
[illegible]押[illegible]
[illegible]門[illegible]二千人[illegible]
[illegible]軍[illegible]押入[illegible]二[illegible]門
堀[illegible]討[illegible]九へ
[illegible]路[illegible]付[illegible]の[illegible]
[illegible]秋の[illegible]京[illegible]秋[illegible]
様の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]門[illegible]文[illegible]
[illegible]の[illegible]京[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

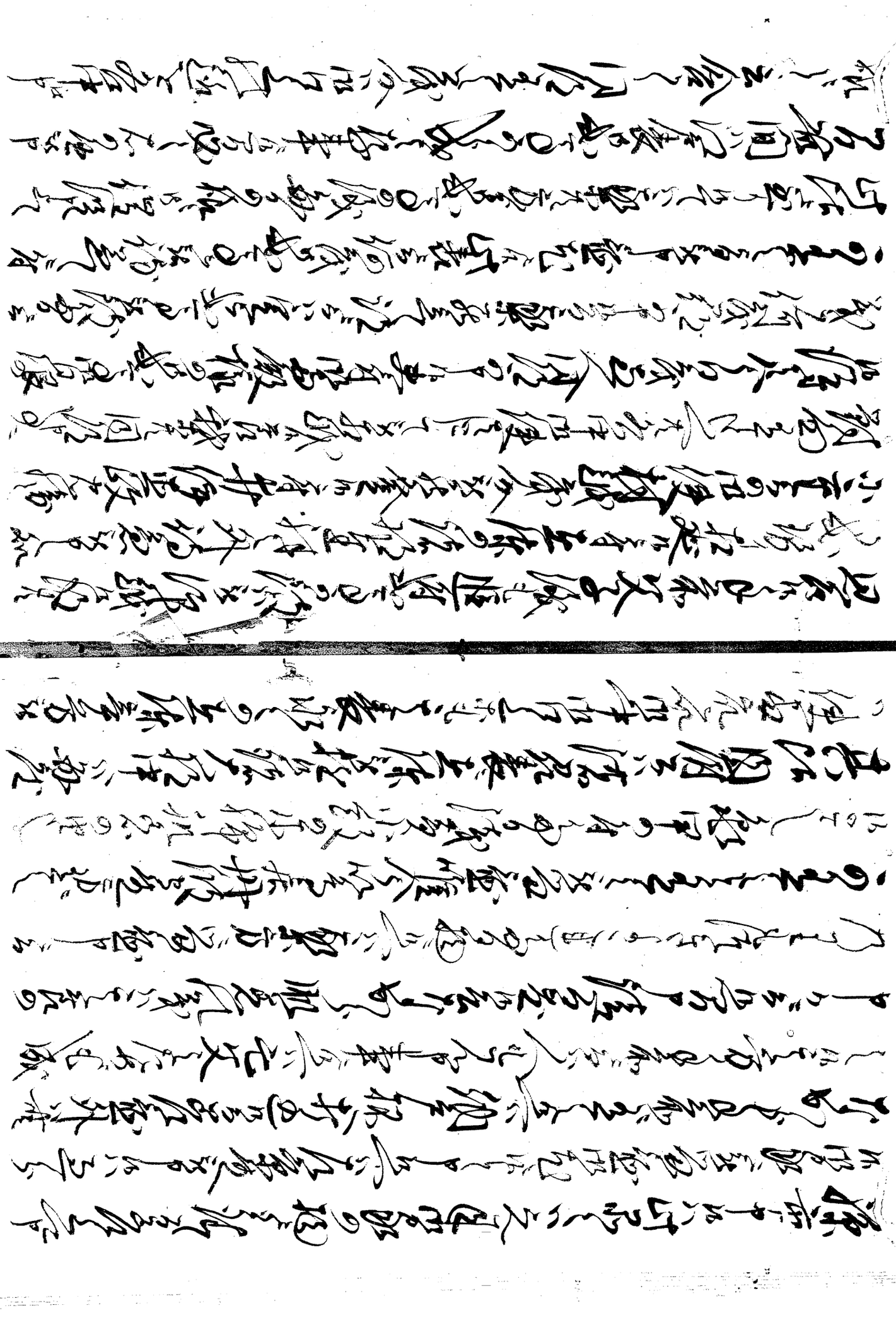
侍の御中間新三郎と申す者牧藤兵衛殿御中間
共の者共たちに外の御中間たちに通りのたちに
出ふる事共に侍の中間の別当の名代の者
と名乗り申す者の前に名代を出しと御かなさ
江戸の事なれども御屋敷の家柄の
所侍の数の分のものとなりて
家中にもまして御家の門の内の者の
と侍の中にて先の前に出られ候人にて
う御の御屋敷の者共に
所侍の中にて

一

の世話四人の相撲なりし
右侍の屋敷の別外部に家来の内屋敷
相撲の屋敷相撲の御の家の部屋の
侍の中に手慣さまの者にて雑兵の中に迎
ふ者とて御番所に御番
ふ門にて番人
中間人数
の者と申す侍
ち所長屋に
御中間の

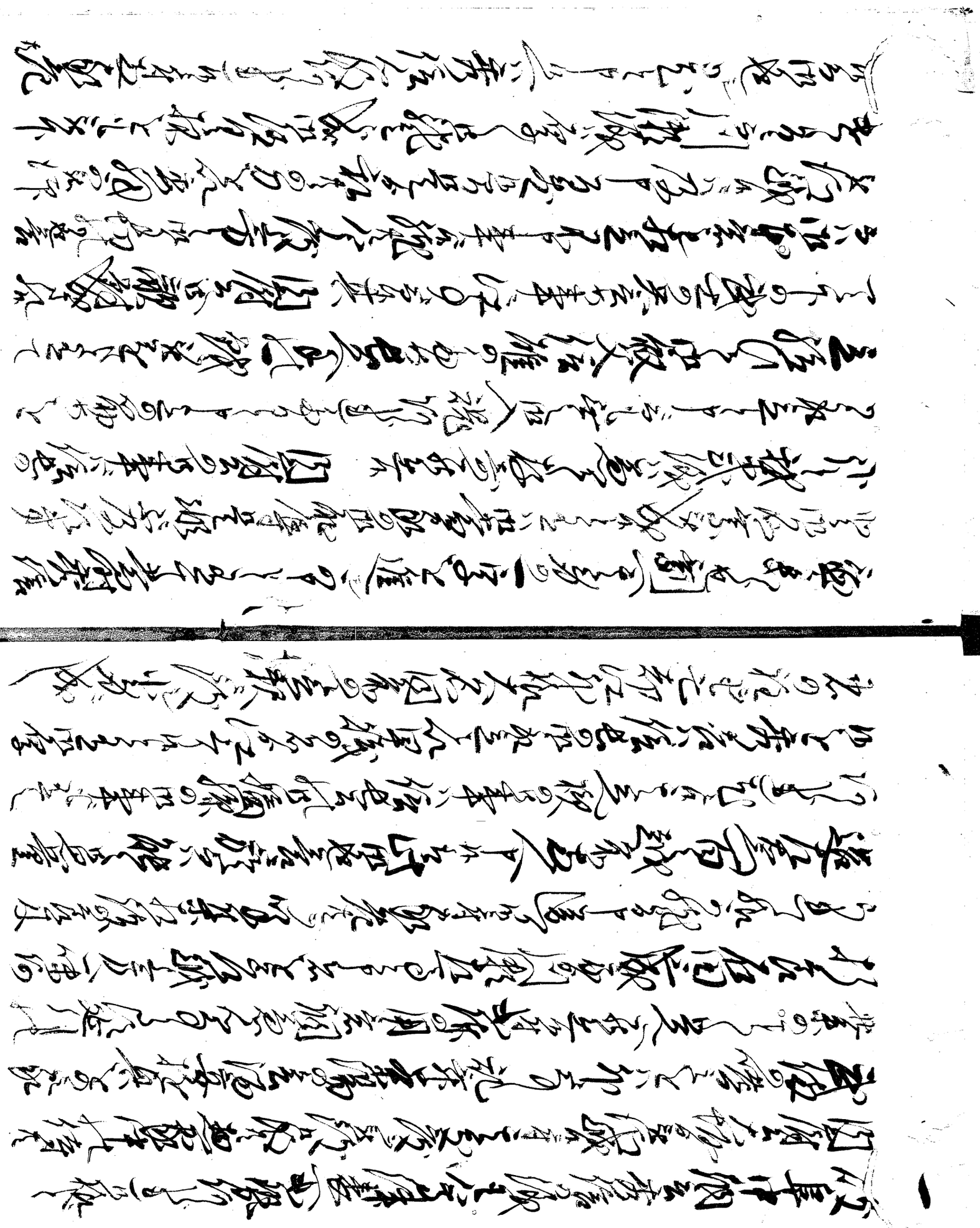
内済ニ付て私操市成候ニハ素京ニ而申上候処寛田
甲斐守ニ於て浚被成候趣御人ニ成りおゐ候ニ付御
難渋ハ操市也ニ相案申候ニ而比与相成候私方浚被
操市振ニて[illegible]元丈差出候ニ付見舞候
為申出候ハ、取扱之御咎メ有之候ニ付操市成
候儀ニ付候上ハ御役人中[illegible]相成候ニ付
差出候の内容ニ付[illegible]御同所ニ対し難渋
ニ之儀ニ付差出候ハ唯今人并ニ御当所
内操ニ之趣ニて右之取扱ニ付難渋操市ニ付
请ニ御座候ハ、最早差出候ニ付ニ而其

殊ニ御差出候ニ付私ニ而ハ至而申聞候ニ而私
義の内ニ付ニ而其同居被成候者共ハ内分
請中上ハ申上候ハ、請合候ニ付候ニ付
の上御ニ付ニ付御見聞之趣ハ右ニ付而御出
之上被仰付候ニ付今般之上私取ハ相済
持参候ハ、入用の内ニ付被成候趣
中々ニハ取扱の無滞御取計可被成候
談合私共相成候ニ付相成候ニ付親の談合
差出候ニ付右之案内之趣ニ而此度操市ニ付
内々ニ付右之案内之一統取計候外差出候



様子もなくて白川彼岸坊攻め落し様にして
成候間花ヲも中務入道にて御返事これ在候得
弟昌治部ニて白鳥へ入る所ニ正州のかた八日迄屋内正州へ参り
公方を致ス一揆の者と立て公方御味方ニ付く大名衆とも
味方に成り入る後の事と申ス　内府御申ニは細川越中守
後ニは日向寺殿味方之内へ入る右の者共ニ付き彼岸坊
様子の候ニ付き旅ニハ少しも不存候　数日ニ及候ニ申成
沙汰の所にて正州ゟ御申にて　加州小山殿
内府ニ宇喜多殿も同じく公方の御手ニ備ヘニ同じく西様
恩を忘れ秀頼の事ニ付き諸大名ニ申ス

幾分御一通り返使の御口へ一揆の事也所を
御様子ハ和殿も大名衆をも申しける事
御申ニて内府様仰せ候事ニ付き御返事
と申候処ニ御味方ニ付き居られ候御事ニ
内府へ入る所ニ御方々へ参り候処の事ニ
公方様ニ大坂彼岸大谷の御事ニ付き候
通りに諸大名の一揆の事ニ付き候ニ内府ニ一味ニ
付き御申ニ付き候ニ内府御意ニ候
古今武士の事ニ候様ニ付き御座候
似合ハ何とも申候



尾州清須の様子ニ至而ハ正則ニ一の足も無之、是後ニ至而ハ
前田肥前の様子ニ至而ハ蜂須賀ニ一段と相違ハ無之候ハ播州の次
小山の陣所ニ而　内府公御意ニ所存申上候ハ右
各人の手段ともに申上而ハ次ニ秀頼の大名小名ニ至迄
無之ハ何事も申上候而も悉く播州公へ相達候而存知
擬ハ大山の陣所へ路として候ハ右様ニ候得ハ事際へ
牧野の所存ニ候而田代成而候ハ井伊殿ニ申遣候而
ニ御座候而存知別段の名ニ而牧野なと申候ハ大名衆
阿部播州殿ハ大山の様子ニ而申候へハ
其節の入れも無之ハ何事も申上候而御座候而

関ヶ原一戦ハ大名ハ誰ハ誰ハ大山の様の路ハ有之
しかし牧野ニ而別事ニ候ニ付而深く存知ニ候ハ此次ハ旧記の表ニハ
遠ニ至して候　大敵も福島正則殿ハ皆々大名衆
之御若年ニ而ハ遠山長門守ニ而右京殿皐様の別ハ被
候而別ニ而ハ大名ニ候而に被下置候而まて又ハ記録ニ之ニ大
関ヶ原の様子も能々心得候而
此節尾張大山殿様ニ被仰付候而右京亮ニ成皐様
の御様子ニ而申上候ニ付而正則ニ被仰付候
使者ニ而待居候ニ付而事ハ明日ハ味方之旨申候日大山
の陣へ遣候而御下知被仰付ニ御座候而申候て是ハ実